

柴島高校 知的障がい生徒自立支援コースの生活

【本年度在籍の自立支援コース生徒 9名（各学年3名）】

柴島高校の知的障がい生徒自立支援コースは、2000年からの調査研究時代を経て2006年に設置されました（HP沿革参照）。療育手帳を所持する者、児童相談所等の公的機関により知的障がいを有すると判定された者で構成されています。

本校では、知的障がい生徒自立支援コースのことを「アミティエ」と呼んでいます。アミティエとはフランス語で「友情」という意味です。アミティエ生徒はそれぞれがクラスに属し、自分のホームルームクラスを中心としながら学校生活を送ります。「互いの違いを認め、共に成長する」という理念のもと、障がいのある生徒とない生徒が互いに刺激を受けながら共に学んでいます。

アミティエ生徒の授業は、クラスメートと共にホームルーム教室で受ける授業とアミティエ生徒だけが集まって少人数で受ける授業が約半分ずつあります。ホームルーム教室での授業については、その生徒の実情に合わせて教員が横につきサポートをしたり、別課題に取り組んだりしています。

以下がアミティエ生徒の1日の生活の様子です。

【1日の生活】

8:15	登校	アミティエルームに顔を出す。連絡帳を学年ごとのBOXに提出。 健康観察を受ける。 (自転車登校も可。生徒によっては保護者送迎というケースあり。)
8:30	授業0限	各自クラスで論理演習（1・2年生）・マナトレ（3年生） (自クラスでの授業、選択授業、アミティエでの少人数授業)
8:50	授業1～4限	50分授業、(休憩は10分、2限と3限の間は15分休憩)
12:45	昼食	各自のクラス・アミティエルーム・食堂等で昼食 (食後はアミティエルームで他の生徒も一緒に過ごすことが多い)
	昼休み	クラスの生徒と遊んだり、アミティエルームで過ごしたりする。
13:30	授業5～6限	50分授業、休憩は10分
15:30	帰りのSHR	各自のクラスで連絡を受ける。
15:40	終わりの会	アミティエルームで1日を振り返る。諸連絡。
	放課後	火・金は交流サークル（送る会）で活動する。 月・水・木はそれぞれの興味・関心に応じて部活動に参加する生徒も。
17:00	下校	
19:00	最終下校	

【本校、総合学科の概要】

- ・1年生については原則普通科と変わらない。芸術は「美術・書道・音楽・工芸」から選択。
- ・ホームルーム単位で授業を受けるのは、2、3年生についてはHRを入れて6時間で、それ以外は選択授業となる。それぞれの生徒が約150の科目から授業を選択し、自分だけの時間割を組んでいる。

【特別な支援について】

- ・原学級での授業・選択授業では、必要に応じて支援教員が付き添い、それぞれの学習到達度にあわせた学習を行う。授業内容や生徒の状況によっては、付かない場合もある。
- ・アミティエだけの少人数授業では、自立支援コースの教室にて、マンツーマン・学年ごと・個々の課題が類似した生徒ごとに授業を行う。